

奈良県黒滝村地域おこし協力隊新聞

くろ たき むら

黒滝村 Lover

Vol. 4

TAKE
FREE

● Cover Place

黒滝村笠木地区からの眺望

大自然の中であもいっきり遊ぶ
きんらの森・赤岩



アットホームな
やさしさに癒される



みよしの
オートキャンプ場

黒滝村のキャンプ場を 大々特集！！

★地域おこし協力隊四コマ★
「くろたんの恩返し! ?の巻」



☆黒滝村News☆
黒滝村が安倍首相を表敬訪問!!



4月19日、黒滝村は安倍晋三首相に表敬訪問を行い、樹齢400年の吉野杉を使った透かし彫りのネームプレートと、酉年にちなんだ天然記念物「尾長鳥」吉北紋飾りの額を謹呈しました。制作者の同村赤滝、工芸士山口哲雄さん、書を担当した同村中戸、上中三郎さん、黒滝村森林組合で吉野杉の利用促進に携わる面皮工芸作家の花井慶子さん=下市町=が、辻内村長とともに首相官邸にて手渡し、首相からの激励を受けました。全国に誇れる優良材である吉野スギの魅力を最大限アピールするために制作した逸品をお届けしたもので、今後も地域木材の新たな可能性と販路開拓の突破口を見出すための事業を推進していくとのことです。

黒滝村から吉野ヒノキの大径木が出荷されました!!

3月24日、黒滝村から吉野ヒノキの大径木が出荷されました。長さ16m、末口直径48cm、樹齢約230年、体積4.66m³、重量約4トンという超大型の「直材」です! 結果、奈良県木材協同組合において高値で売り落とされました。優良材の産地として名高い吉野地域の林業関係者からも、数十年に一度の貴重な材と絶賛されています。12月28日の新月の日に伐採、約2か月半の葉枯らしの後、3月半ばに大型ヘリにて搬出されました。吉野杉の大径木出荷、吉野杉工芸品による総理大臣への表敬訪問等、吉野林業を取り巻くホットな話題が続いています!



ご意見募集中

本誌では、取り上げてほしい内容や取材依頼、企画など幅広く募集しております。また本誌の購読をご希望の方にはお送りさせていただきます。詳しくは地域おこし協力隊白石まで。

お問い合わせ

kurofakimurlover@yahoo.co.jp

観光PR担当



白石隊員
治のの1週間
かかりました
FATTサルで
筋肉痛に...

農業担当(集落支援員)



樋口支援員
白きつりの苗とカボチャの苗で接
ぎ木に初チャレンジしました。上
手くいきますように。

観光施設担当



藤田隊員
新年度が始まり、新しく入った協
力隊のみならず一緒に力を合わせ
て、黒滝村を盛り上げたいです。

食の6次産業化
プロジェクト担当



勝原隊員
5月1日から白きつりの新商品
3種の道の駅、黒滝茶屋、奥座
敷市場にて販売開始します!

◇隊員のつぶやき◇

林業振興担当



辻本隊員
山の中で食べるお昼ご飯がとても
おいしいです!

林業振興担当



住吉隊員
先日、ハシゴでの枝打ちをはじめ
て経験しました。いちばんの課題
はタイエット(汗) 結果は秋頃に!

林業振興担当



久喜隊員
山に入る時の服装が少しずつ軽
なってきました。春ですね。

●黒滝村へのアクセス

※画像提供 岡村印刷工業株式会社



黒滝村地域おこし協力隊
ホムムベージ

黒滝村地域おこし協力隊によるブログ

きららの森・赤岩

キャンプ場予約サイトで人気爆発

管理人

つじもとひろし
辻本浩さん

1965年2月奈良県五條市に生まれ、大淀高校卒業後、電気屋などを経て2011年9月から黒滝森物語村株式会社に勤務。現在はたくさんの業務をこなしながら主にきららの森の管理人として活躍中。村のマスコットキャラクター「くろたん」誕生当時から、村と連携してくろたんをサポートしている。

◇村が誇る総合レジャー施設◇

●「きららの森・赤岩」は村営の総合レジャー施設として1994年にオープン、現在は「黒滝森物語村株式会社」の管理施設として民間での経営となりました。黒滝村の中でも奥地に位置する中戸地区の施設にも関わらず、「不便さ」が都会人のニーズに合い、順調に利用客を増やしつつあります。特にリピーターが多く、夏場は予約で満杯となるため、常連の方には宿泊後に来年の予約をしていく方も多いそうです。

◇キャンプ場予約サイトで一位に◇

●順調に業績を上げてきたきららの森ですが、昨年平成28年度さらなる進化を遂げました。辰巳総支配人が新たにネット予約システムを導入したことにより利用客が増加、また偶然にもキャンプ場のネット予約サイトで月間全国一位を獲得し、その後もランキング上位を獲得し続けたことで利用客は前年度比1.5倍に増加しました。もともと利用客の評判が良く、口コミに強かったきららの森は今年度も利用客増を見込んでいます。

◇もっと活気ある村にしたい◇

黒滝村をもっと活気ある村にしたいと熱い思いを語る辻本さん。村づくりプロジェクトチームや、吉野ビジターズビューローなどたくさんのチームに顔をだし情報収集に余念がありません。「やまなみステージ」

や「こもれびホール」など素晴らしい施設がたくさんあるのに有効活用されていない現状もつらいとの考えです。黒滝は林業以外の資源にとぼしい上に、他の奥大和地域にくらべると自然の大きさでも負けてしまうため、芸能の神が祀られている天河大辯財天社がある天川村に近いという立地を活かして、音楽など芸能のメッカの村になれば面白いのではないかと語ります。

◇大自然の中で遊べる豊かさ◇

テニスコートをはじめ川遊び、バーベキュー棟や広場もあり、大自然を満喫できるのが「きららの森・赤岩」の売りです。外国人の利用客も多く、大阪から車で約90分という村の立地の良さもあり、近年ではきららの森を大阪や奈良市街への観光拠点として利用する人も増えています。名前の由来でもある「赤岩渓谷」のすぐ近くという立地も人気の秘密です。また新たな企画としてバーベキュー用のシシ肉の販売や、ピザ釜や燻製釜をつくるという計画も。今話題のペットボトルを利用したピザ作り体験も実施したいと、夢は膨らみます。



テニスコートだけの利用も可能。
1時間1080円
大自然の中で楽しむピザ作りは格別！
テニスコート2面「砂入り人工芝コート」/照明設備



月例イベント「くろたん散歩」の定番スポットでもあるきららの森。くろたと辻本さんはとても仲よし。



コテージ「赤岩」

離れのコテージ「赤岩」は10名まで収容可能な大型コテージ。有名人も利用する隠れ家スポットだ。



串打ちや腹出しなど調理過程まで体験できる「アマゴのつかみ取り体験」も魅力的。きららの森でしかできない体験が盛りだくさん。※要予約。天候により中止の場合あり。



バーベキュー食材としてアマゴを注文することもできる。



コテージのテラスからは、きららの森を一望できる。どの部屋も綺麗で管理が行き届いている。一人当たりおよそ5000円程度の値段から宿泊できるリーズナブルさがウリ。
※利用人数により値段は変動。詳しくはお問い合わせ下さい



きららの森・赤岩

奈良県吉野郡
黒滝村中戸
定休日なし
※冬季休業

3月中旬～11月30日まで営業
TEL 0747-62-2770



女性目線の快適さを追求し続ける

みよしのオートキャンプ場

代表 ふみお
阪田二三雄さん

1950年3月奈良県桜井市生まれ。銀行員を経て父とともに鉄工所を起業し、黒滝生まれの妻・絹代さんと結婚。その後の怪我により化粧品の訪問販売などの転職を経て1996年6月からみよしのオートキャンプ場を開場し経営を行う。

◆女性が来たいと思える所を◆

●みよしのオートキャンプ場は代表の阪田二三雄さんとご親族により共同経営されており、家族経営のようなアットホームさが売りのキャンプ場です。空き土地の有効活用を考えていた際に、代表を務める阪田二三雄さんがアウトドアが大好きだったことがきっかけでみよしのオートキャンプ場を誕生させましたが、一時期のキャンプ場ブームがすでに終焉しており、そもそもキャンプ場経営は初めてということ当初は苦戦しながら手さぐりでの挑戦となりました。とにかく女性客が来なくなるようなキャンプ場を目指して、トイレをはじめとした「清潔さ」「綺麗さ」にこだわってきました。それが功を奏して徐々にリピーターを獲得、いまでは年に何度も来てくれる常連客や親子2代にわたって来てくれる方もいます。

◆宣伝しないことが良かった◆

●もとより観光資源の乏しい黒滝村において「何もないのが取り柄です、とお客さんに説明するしかなかった」という阪田さん。予算がなく宣伝も全くできませんでした。ところがそれが逆に知る人ぞ知る穴場スポットとしてキャンプ場ファンの中で定着することになりました。またお客さんへ貸し出すレンタル機材のほとんどをコストパフォーマンスに定評のあるロゴス社のもので揃えたことで、いつのまにかロゴス社の提携キャンプ場のような扱いになっていたそう。ロゴスショップの方が、口コミでオススメしてくれることもあるとのことで、これも阪田さん

をはじめとする経営者のみなさんのお人柄ゆえです。

◆人生楽しくがモットー◆

●あいだみつをさんが好きという阪田さんのモットーは「人生楽しく」。その言葉通り、もちつき大会やそうめん流し、ビンゴゲーム、ほたる祭りなど、お客さんに楽しんでもらえるような企画を考えたり、とにかくアイデアを形にされてきました。みよしのオートキャンプ場名物の「五右衛門風呂」も都会の人が火を使う体験が出来たら楽しんでもらえるのではないかとアイデアから生まれました。五右衛門風呂以外はシャワー施設のみのため、お風呂に入りたいというお客さんには徒歩圏内の森の交流館「御吉野の湯」をおすすめし、バーベキュー食材を忘れたというお客さんには寺戸地区の「フレッシュナカタニ」を案内するなど田舎ならではの持ちつ持たれつの経営方針です。開業当時と比べてキャンプ用品も車も大型化してきた現状を受けて、大型のキャンプ用品でも問題なく使用できるようにメンテナンスしていきたい、と当面の目標を語る阪田さん。年間利用者数は数千規模を誇り、人口激減の真ただ中の黒滝村において屋間人口の増加に大貢献しています。



自分で薪を焚いて入るお風呂は都会では味わえない贅沢すぎる時間。

名物「五右衛門風呂」
2時間2000円



木を中心としたお洒落な事務所には至る所に なかつしめいぼく 中辻銘木の木材製品が使用されています。



みよしのオートキャンプ場といえばこの標識「NEWYORKまで11160Km」場内の至る所にあるオーナーの茶目っ気を探すのも楽しそう。



昔懐かしの竹馬も無料貸し出ししている。子供より大人の方が楽しんでいるとか!?



すぐ隣を流れる黒滝川は水深が浅いので安心。子供たちは川遊びではしゃぎ、大人は中洲にイスを置いて読書するのが定番。



ログハウスに泊まることもできる。寝袋など各種キャンプ用品の貸し出し(有料)も。



みよしのオートキャンプ場

奈良県吉野郡黒滝村御吉野 193
定休日なし ※冬季休業
(3月中旬頃～11月30日まで営業)
TEL 0747-62-2340
FAX 0747-62-2348
E-mail: miyoshinoautocamp@kcn.jp

